

施設の理念 — 和顔愛語 (人にやさしい笑顔で 心は豊かに 言葉は和やかに)

第22号

■発行所■
芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム
芦別慈恵園
■発行責任者■
皆木辰吉
■印刷所■
(有)ワタナベ企画いんざつ

慈恵園だより

ちぎり絵クラブが始まりました!!



▲ 西川先生の作品
いつかはこんな作品を!

五月二十四日、『ちぎり絵クラブ』が始まりました。講師は市内の西川靖子先生が一年間教えて下さいます。この日、参加した皆様は、題材のピエロを二時間かけて熱心に取り組まれていました。ご家族と一緒に「こは、この色だよ」とか「これは少しずつ糊をつけて」等、話しをしながら進めたり、一人で黙々と見本を見て貼るなど思い思いに楽しみながら作った様です。完成した作品は、お部屋に飾り来園したご家族や職員にも苦労した所など話していました。最後に先生からは、一回で出来る上るとは思っていなかった事や、真剣に取り組んでいた表情が印象に残りましたと感想を頂きました。

「なごみ茶話会」開催しました



中央、石川睦子委員

芦別慈恵園・第三者委員

齊藤 広様、後藤君枝様、石川睦子様 (17年度なごみ茶会開催～8回)

昨年より始めました「なごみ茶話会」を今年も行います。今年新しく第三者委員に、石川睦子さんが加わり、五月の「いこい」ユニットからスタートしました。

日常生活の事や昔の仕事で楽しかった事や苦労した話など色々され、今後、何かあつたら何時でも話が出来ると関係作りをしたいと考えています。

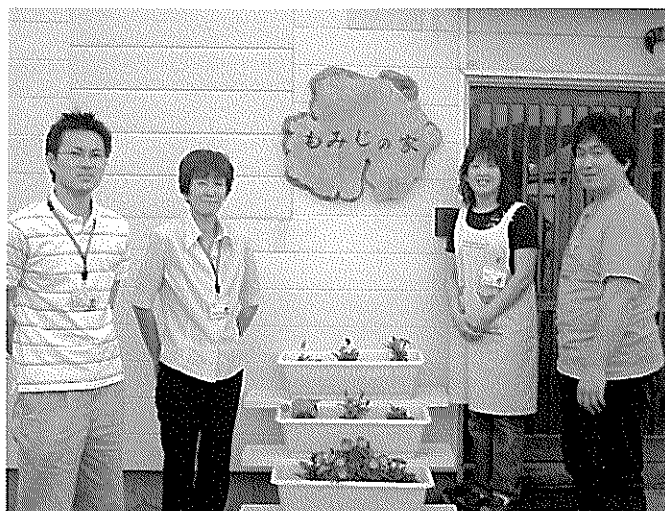


スタッフ挨拶



▼もみじの家

来月オープン一周年を迎える「もみじの家」です。利用率は9割程で随時ご利用申込みを受け付けています。ご一緒に楽しい一日を過ごしませんか？



鈴木・高橋・高沢・佐藤

▼訪問介護サービス

地域の皆様には日頃より大変お世話になっております。慈恵園訪問介護サービスも開始して三ヶ月が過ぎ、四名のスタッフがご支援させて頂いておりますが、ご利用者様の信頼をいただけるように今後もサービスを充実させ、地域の皆様の為にお役に立てるよう務めさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

池田・小松



大下・木村

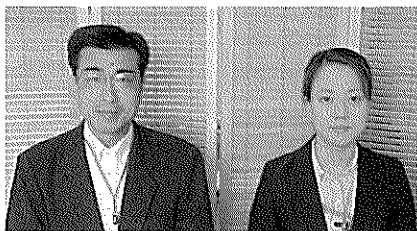
▼ケアプラン相談センター

芦別慈恵園ケアプラン相談センターでは、今まで介護支援専門員が1名体制でしたが、今年四月から2名体制となり、より迅速・丁寧に対応することが可能となりました。これからも、要介護の利用者を中心に新規利用者を受け付けている他、介護保険に関する相談にも応じておりますので、どうぞご相談下さい。

(電話 二四・三〇〇)

「よろしくお願ひします」

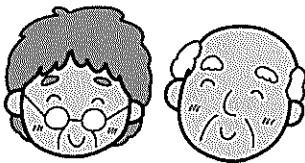
平成18年4月1日より、介護支援専門員として勤務しております林由佳です。介護支援専門員としての経験は浅く、毎日が勉強の日々です。ご利用者の皆様、地域でその人らしい生活を継続できるように支援させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



小野

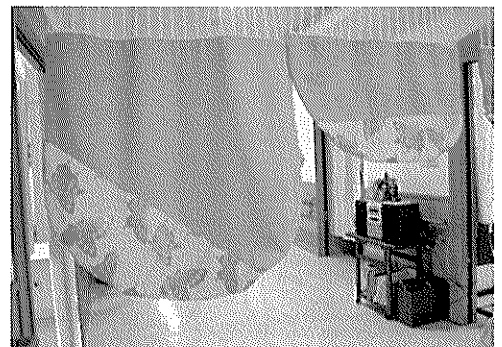
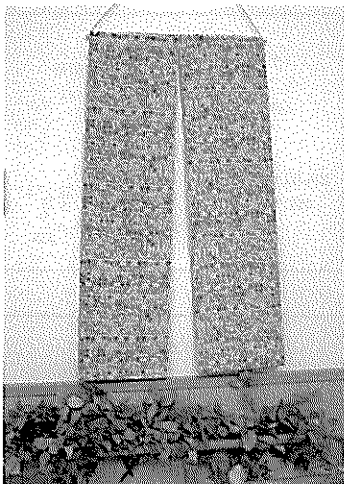
林

ご寄贈ありがとうございます。 こんな風に使わせていただいています。

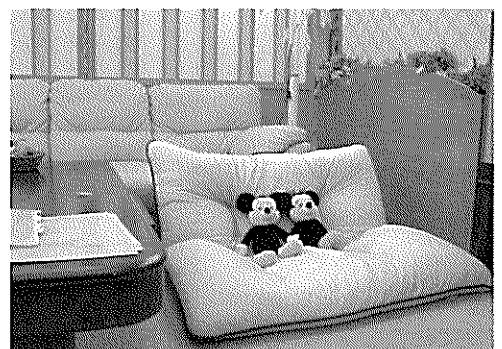


前回の慈恵園だよりで、皆様にご不要の家具や着物等を頂ける様にお願ひしたところ、数多くご協力を頂きました。さっそく各ユニットのスタッフがアレンジを加え、家具は廊下やお部屋で利用させて頂いており、着物については、のれんや間仕切り、家具の上や表面に張ったりと、とても雰囲気の良いアクセントとして活用させて頂いております。

今後も園では、家具や着物、使用していない皿や小鉢などの食器、そして綿のタオルやシーツなど使用しないものがあれば、ご連絡頂きたいと思ひます。今後ともご協力宜しくお願いします。



▶ ▲ 帯や着物をリメイクしました



▲ 座イスも可愛く

▲ ニポポはフロア入り口でお出迎え

▲ 素敵なインテリア



▲ 高級感のある桐のダンスです



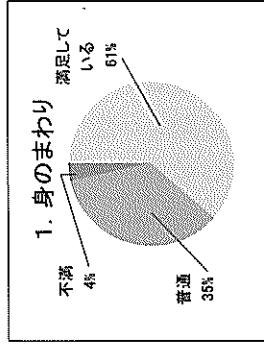
▲ 気に入って使っています

○ お詫びとお願い ○
三月九日、もみじの家に、着物や帯のご寄贈をいただきましたが、職員が、お名前を聞き忘れてしまいました。大変失礼いたしました。ぜひご連絡をお願い致します。
ご連絡先・もみじの家(担当・鈴木)
電話 一三二二一〇〇まで

平成17年度 家族アンケート 結果分析

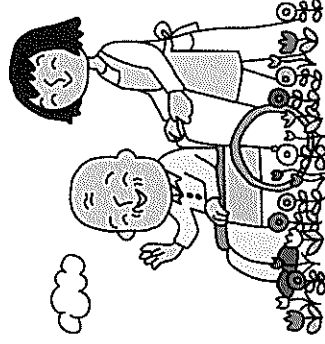
- 平成17年12月7日実施
- 発送数/103、返送数/83
- 回答率/80.6%

● 分析方法については「満足」を「満足している」・「普通」「不満」を「満足していない」と捉えた。



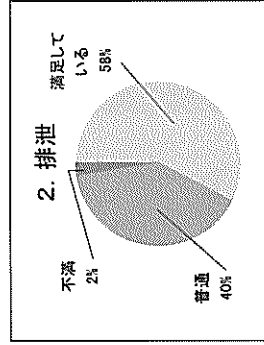
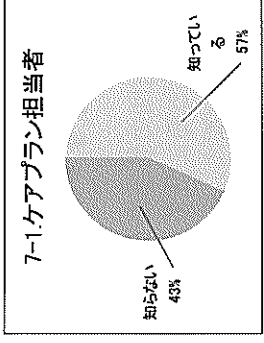
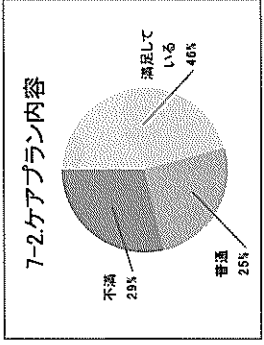
1. 身の回りの世話

施設でのケアについては半々の評価になっているが、各ユニットを小分けにしてケアを行っている割にはきめ細かい個別のケアが出来ていないと考えられる。



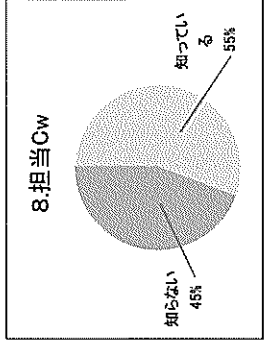
7. ケアプランについて

ご家族に対し、内容を送付し同意を頂いていることから、担当者の周知の度合いも高い。しかし、43%の方が担当者を知らないという回答されている。ケアプランは「その人らしく生活していく」上で大切なものと位置づけていることから、全員に周知できる方法を考え、満足できるケアプランを策定するために家族カンファレンスを増やして行きたいと考えている。



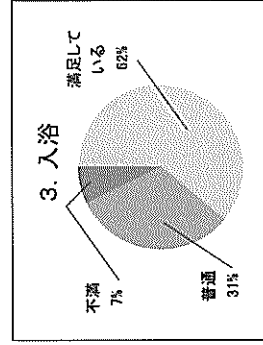
2. 排泄について

個人にあった排泄パターンを把握し実施していることが評価されている。しかし、トイレ誘導についてはもう少しきめ細かくとの要望もあり、排泄ケアについては今後も力を入れていかなければならない。



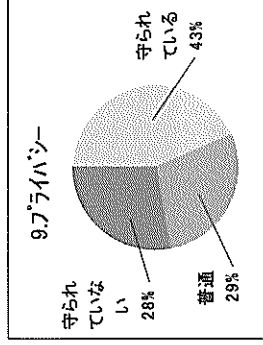
8. 担当ケアワーカーについて

ユニットケアを実施していることや、居室横に担当Cwの写真を掲示しているにも関わらず、担当Cwを覚えて頂けないということが分かった。職員の関わり方の問題や、居室担当職員としての意識づけがされていないことが原因と考えられる。今後はどのような方法でご家族と密接に連絡を取りあう等をしていくかが課題として挙げられる。



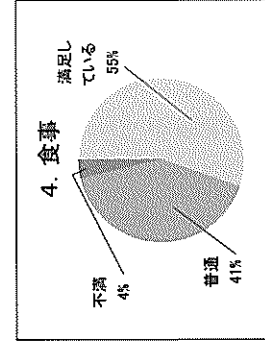
3. 入浴について

現在、入浴は午前・午後・夕方・夜間に行っているが、入浴時間・回数について希望に沿っていない部分があると思われる。今後も個別の希望や浴槽なども検討していく必要がある。



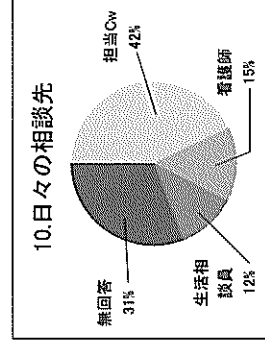
9. プライバシーについて

居室が個室であったり、仕切りによってプライバシーを確保していても、職員の関わり方、声掛けの方法によってプライバシーに配慮していないと感じていることが分かった。入室する際ノックをしているか、ベッド上でケアを行うときの声のかげ方や、デイルームでの声の大きさ、カーテンをしていくか等多くの課題があると考えられる。



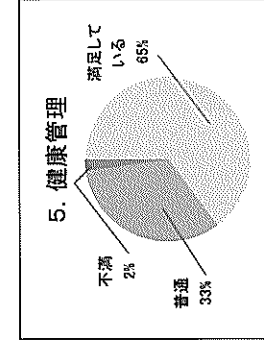
4. 食事について

食事の種類や形態も多様化して、特に形のないミキサー食や刻み食について、食欲が進まないとの回答があった。少しでも喫食率が上がるように、やわらか食を普及させ、刻み食の形・固さについて検討する必要があると思われる。



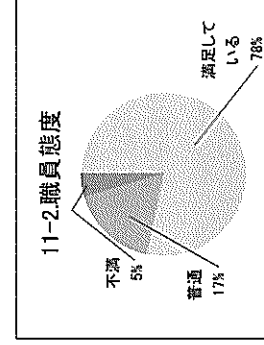
10. 日々の相談や全般的な相談について 誰にしているか

無回答の中には分からないと回答している方もあり、相談について誰にしたら良いのかということが理解頂けていないことが判明した。



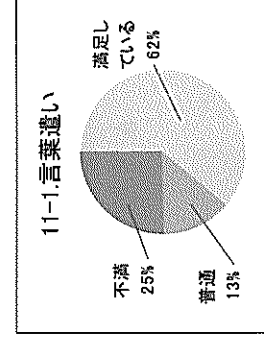
5. 健康管理

現在行っているターミナルケアへの取組や、検査データをもとにしての体調管理に対して満足されているようである。ご家族はご利用者については少しでも連絡が欲しいと考えておられ、時間帯については緊急時以外は日中の連絡を希望されている。また、何%かは、看護師に対して、優しく何でも説明して欲しい、と回答されている。



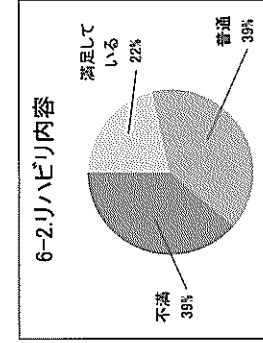
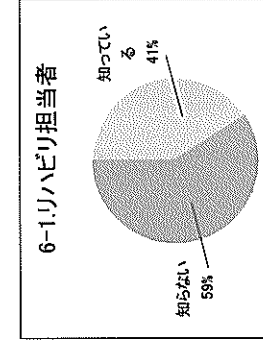
11. 職員について (言葉遣いや態度)

業務指針や施設の理念を自覚し、職員の質の向上に努力する必要がある。そのための取組として、職員会議・各ユニット会議で業務指針や施設理念について勉強を行っているが、更に全職員に徹底していく必要がある。



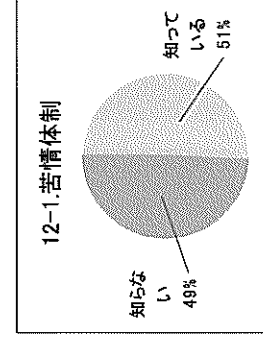
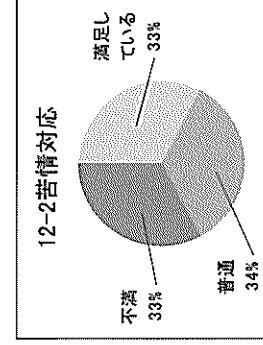
11-1. 言葉遣い

無回答の中には分からないと回答している方もあり、相談について誰にしたら良いのかということが理解頂けていないことが判明した。



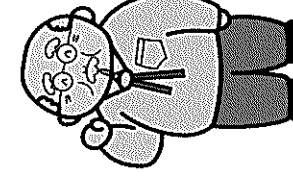
6. リハビリについて

回答から、ご家族への周知の度合いが低いことが判明した。リハビリ担当者がご家族に対して、来園された折に説明を行っているが、担当者自身についても良く理解されていないと考えられる。H18年度より個別のリハビリプランを策定し、同意していただくためにも、周知の方法を検討し、個別プランの充実を図りたいと考えている。



12. 苦情体制について

苦情体制の認知度は半々の状況であり、今後は苦情体制の掲示を分かりやすい場所に設置するなどして、周知を深めたい。



〔まとめとして〕

今回の回答結果を踏まえ、施設で行っている内容を良く知って頂くために、下記のように検討を行い、実施いたします。

- ①利用者のケアの方向性を、利用者・ご家族にも知って頂く工夫を行う。また、施設の基本理念を職員に周知徹底し、質の向上に努めていく。
- ②情報開示をするために、職員の資格や利用者の担当を掲示していく。また、名札を見えやすい位置に下げる。
- ③安心して生活して頂くために、苦情ボックスの増設や、身体拘束廃止のスローガンの掲示を行う。
- ④プライバシーの配慮については、居室入室時のマンナーの向上やトイレのドアを閉めること、利用者の生活スペースの清潔保持に努めることとする。

デイサービス

現在作業レクで足を乗せる台作りを行っています。約5台程完成しテールボックスの下に置いて下肢の疲れ等を軽減する為に利用しており、人気があります。残り13台は6月下旬までに完成できる予定です。

また、6月初旬から苗植えを行い、ミニトマト、キュウリ、ジャガイモ、カボチャ、枝豆と、曜日ごとに利用者皆さんの心を込めて植えて下さいました。夏から秋にかけての収穫時期が待ち遠しいです。デイサービスに来て、生活に張りが出て来たと言われ、職員も感謝の気持ちです。



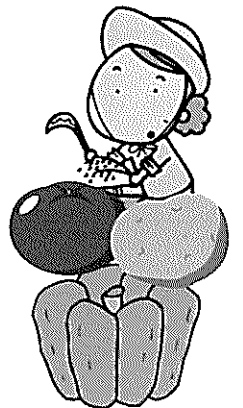
▲ 職員といっしょに苗を植えましたよ



▲ イモの土盛りは大変だな～



▲ ミニトマト、夏の収穫が楽しみだね



▲ 花植えをしました

気温も暖かくなり、ご利用者の皆さんと外出する機会が増えてきています。

旭ヶ丘公園でのお花見の他、滝里湖、カナディアワールド等へ行きましたが、普段はなかなか外出しなくても行けない方も多く「遊びに行けて嬉しい」「皆と一緒に楽しんでいる」と喜んで頂けている様です。

ご利用者の皆さんから「お弁当を作ってピクニックに行けたら楽しいね」との声もあり、現在検討中です。お楽しみに。

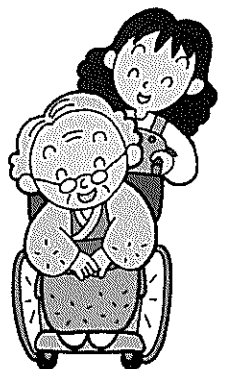
もみじの家



▲ 道の駅へドライブ



▲ 満開のお花見



声の広場

今回は個別レク
についてです。

◆ 路取りに行きました！

(Mさん)

Mさんの好きな露を取りに出かけました。車椅子で露の生えている所まで行き、ケアワーカーが取った露を1本ずつ確認していたできました。露を手渡すと「これは青露で虫がいらないから大丈夫だね。これは赤露で虫がいるから食べられんよ」と話されながら仕分れました。園に戻り早速、露を茹でて皮むきをしました。「笹藪で取った露はもう少し水分があって柔らかいんだけどね。いやあ、久しぶりだわこんなことするの」と懐かしくお話しながら油炒めを作り、頂きました。次回は露の漬物を作りたいと思います。

◆ 洋服を買いこー！

(Tさん)

今回の買い物は、母の日にあわせて娘さんから送られてきた手紙がきっかけで洋服を買いに行くことになりました。当日、お店につくと「今日は母の日だから安いんだ」と喜ばれて、柄のいい品物をひとつ手に取り、鏡で「自分の体に合わせて選んでおられました。帰り際にお店の中で記念撮影もして「楽しかった！」とお話しされていました。外に出て帰りの車待つ間も「こんなに早く桜が見られるなんてね」と感激されていました。



ご厚意ありがとうございました
ございました

平成十八年二月〜平成十八年五月
敬称略

▽寄付金

- (芦別市) 杉本淳子、戸田 博、戸田 猛、戸田 聡、伊藤吾輝夫、芦別市老人クラブ連合会
- (旭川市) 斉藤弘子

▽寄付物品

- (芦別市) 有倉征幸、米林 明、千葉陽子、中島定子、西川昭男、村田和子、木村喜久恵、吉田君子
- (札幌市) 石田嘉豊

▽ボランティア・訪問団体

ともしび会、ボランティアはまなす、どんぐりの会、ボランティアふきのとう、和紙ちぎり絵虹の会、芦別市老人クラブ連合会

お譲り下さい

お家で使わなくなった
ものをお譲り下さい
(ソファ・整理タンス
・テーブル・食器等)



桜と春風に誘われて ドライブ・お散歩



行事写真



合同大運動会・赤も白も負けないぞ!



「はい、タッチ！」



なごみ茶話会



応援組も力が入るよ!



◇四季の中で一番好きな季節、春を満喫。最近始めたウォーキングでダイエットをこころざし、目標はマイナス10kg。いつのことになるのやら。(O)

◇寒い夏ですね。まだ、インフルエンザがあちらこちらで流行していますね、気分は夏でも気候は春ですかね、美味しいものを食べて元気でいよう。(K)

◇運動会は晴天に恵まれ、約30名の利用者の方が競技に参加されました。撮影を担当。皆さんの活き活きとした表情が伝わると良いのですが。(F)

◇えーっ!? 原稿提出直前にパソコンが故障!! 「写真が出せない!!」まったく仕事になりません…。いかに機械まかせの仕事なのか…。反省でした。(I)

編集後記

● デイサービスセンター 「桜をバックにハイポーズ」

